

## 2010年 F4西日本シリーズ Rd,2 吉田広樹

〈鈴鹿サーキット〉

### 4月10日 フリー走行 DRY

最高の形で終えた開幕戦から1か月半のインターバルを挟んで迎えた第2戦。今回の舞台は鈴鹿サーキット東コースです。今回は仕事の都合で土曜日からの走行となってしまったのですが、この日のフリー走行も30分が2本と短い時間でマシンを仕上げなければなりません。積極的に周回を重ねる為、セッション開始と共にコースイン。まずは5年ぶりに走る東コースのショートカットをチェックします。そこから徐々にタイムをあげ、マシンのバランスを確認。セッション途中メーターのトラブルなども発生してしまいましたが、走行には影響がなく順調にセッティングを煮詰めていきます。2本目の走行に入り大幅に変更したセッティングを確認後、NEWタイヤでの予選シュミレーションを行います。開幕戦の経験から入念にタイヤを温めアタックを開始。この日トップタイムとなる49, 5秒を記録し最後のフリー走行を終えました。



### 4月11日 公式予選 6番手/17台中 DRY

明け方には雨が降っていたものの、F4の公式予選の時間には完璧なDRYコンディションとなりました。昨日の予選シュミレーションからセッティングを変更し挑んだ公式予選。雨上がりで路面があまり出来ていないと判断した私は予選開始後、まずはピットで他車の様子を伺います。予選時間も5分を経過した時点でコースイン。今シーズンからフロントタイヤ

が幅広くなったことで、リヤよりもフロント中心にタイヤを温めます。東コースは1周が1分もかからないコースなうえに、強いブレーキングを行うコーナーもないため、2周かけてしっかりとタイヤを温めアタックを開始。計測3周目には昨日の自己ベストを更新する49, 3を記録するものの順位は6番手。その後クールラップを挟み再度アタックを試みたものの自己ベストには3/100秒足りず、そのまま6番手で公式予選を終えることとなってしまいました。

周りのドライバーに比べ、NEWでのタイムがあまりあがらず苦しい予選となってしまいました。原因としてはマシンバランスがオーバーステアだったことやアタックのタイミングを1人だけズラした事など何点か考えられます。決勝で挽回するため服部さんや館代表とミーティングを行い、セッティング面などももう一度一から見直してレースに挑みました。

### 決勝 4位/17台中 DRY

午後に入り気温、路面温度はどんどんあがっていきます。レースギリギリまでチームの方とセッティングについて話し合い、迎えた決勝レース。今回レースの行われる東コースはバッシングポイントが少ないため、この順位からの挽回はタイヤが温まるまでの数ラップが勝負だと思いフォーメーションラップで入念にタイヤを温めます。

そしていよいよ23週のレースがスタートします。

シグナルレッド・消灯・スタート！！

開幕戦に引き続きスタート大失敗。1コーナーまでに4台ほ



Team Naoki

with

Laprod  
LAPROD RACING

<NO.1>

## 2010年 F4西日本シリーズ Rd,2 吉田広樹 〈鈴鹿サーキット〉

どパスされ、12位まで順位を落とします。しかしそこから3台ほどオーバーテイクに成功し、オープニングラップを6位で終えます。ここからの数周が勝負どころだと確信していたので思いっきり攻めまくり1台をパス。さらに次の周にももう1台をパスし、4位にポジションアップ。ここから2位争いを行う2、3番手の後ろに追いつくのですが、中々仕掛けるチャンスがありません。周回を重ねるたびにマシンバランスも大きく変化し、予選とは正反対な方向に苦しみます。周回遅れのマシンを上手く使い、オーバーテイクも試みたのですが失敗に終わりそのまま4位でチェッカーを受けることとなってしまいました。

昨年の経験も活かし、今シーズンは前戦全勝を目指していたのですが、表彰台にすら乗れず凄くなさけないレースとなってしまいました。レース後もチームの方と話し合い、次のレースに繋げるべく、今回ペースアップ出来なかった原因を追求しました。決勝中のベストラップを見ると2番手だったので、ここで重要だったのは予選で1番前からスタートすることだと実感します。

これからの課題としては、少ない時間の中で予選用、決勝用とセッティングをしっかりと煮詰め、常に先頭を走れるように心がけます。シリーズのことを考えるともう1戦も落とせない状況なので、今回の経験を活かし絶対にシリーズチャンピオンをとりますので引き続き、ご指導・ご支援のほどよろしくお願い致します。

Team NAOKI with LE PRIX SPORT  
吉田 広樹



Team Naoki  
with  
*Le Prix Sport*  
LE PRIX SPORT

〈NO.2〉